

## 浜松湖西豊橋道路の都市計画決定に関する 愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会(第1回)

- 1 とき 令和6年3月11日(月) 午後1時30分から午後2時45分まで
- 2 ところ 愛知県本庁舎6階 正庁
- 3 内容
  - (1) 開 会
  - (2) 委員紹介
  - (3) あいさつ
  - (4) 部会長あいさつ
  - (5) 部会長職務代理者の指名  
川野委員が指名・承認された。
  - (6) 議題
    - ①専門部会について(資料1)
      - 説明要旨(青柳担当課長)  
専門部会の運営方法、情報公開方法などの事務局(案)について説明  
**【質疑応答等要旨】**  
質疑応答なし、事務局(案)のとおり決定した。

- ②浜松湖西豊橋道路の概要について(資料2)
  - 説明要旨(岩川主査)  
浜松湖西豊橋道路の概要、計画段階評価専門部会の進め方について説明  
**【質疑応答等要旨】**

質問等要旨	回答要旨
<p>(加藤部会長) 資料の図面に縮尺をつけるべき。 路線の延長及びルート帯の幅は概ね何キロなのか。</p> <p>アクセス性の向上は重要な項目であるため、資料や説明の構成上、浜松湖西豊橋道路の整備による高速インターチェンジへのアクセス時間の短縮については早い場面で説明するべきと考える。</p> <p>(岡田委員) 採用された案1のルート帯は津波や河川による浸水想定区域を含んでいるが、災害時における円滑な救援等のための輸送ルートとして適しているのか。案3の国道23号拡幅ルート案も検討する必要があるのではないか。インターチェンジを浸水区域に作ってしまうと災害時にアクセスすることができないので、インターチェンジの位置等は柔軟に検討してほしい。</p>	<p>(小島課長補佐) 今後は縮尺を図面に記載する。 本路線全体延長は約26kmであり、愛知県内は約13kmである。ルート帯の幅は約1kmとなっている。</p> <p>ご指摘を踏まえ、今後の資料作成や説明で反映していく。</p> <p>本県で実施する都市計画及び環境影響評価は、国の計画段階評価での決定結果を受けて進めていくことから、案1のルート帯で考えていく。 国の計画段階評価においては、橋梁構造で浸水想定区域を通過することで大規模災害の影響を受けにくい結果となっている。今後ルート帯の中のどこを通るのかや構造形式を決定していく過程で適切な対策を検討して</p>

<p>(梶田委員) 浜松湖西豊橋道路の防災面での整備効果は重要である。 意見であるが、案1は他の案に比べ延長が短く、時間短縮効果が高いこと、防災拠点のアクセス性の向上の優位性が大きいことなどから、案1を基本として計画を進めていくべき。</p> <p>(北田委員) 案1は市街地の区域に最も近い案となるが、当該市街地はその南側の地形より一段高くなっている。 意見であるが、ルートによっては、また高架構造となった場合には、市街地と道路本線との位置関係から騒音や大気質等の影響が大きくなる可能性があるため、今後の検討では、その点を考慮して進めていくべき。</p>	<p>いく。</p>
--	------------

③浜松湖西豊橋道路の環境影響評価について(資料3)

○説明要旨(小島課長補佐)

環境影響評価の手の続の流れについて説明

【質疑応答等要旨】

質疑応答なし

④都市計画の案を作成するための基本方針について(資料4)

○説明要旨(小島課長補佐)

基本方針及び都市計画を定めようとする目的について説明

【質疑応答等要旨】

質問等要旨	回答要旨
<p>(岡田委員) 資料4の東三河都市計画区域マスタープランの将来都市構造図に追記されている浜松湖西豊橋道路の表記の仕方について、計画段階評価で決定したルート帯を示した方が良いのではないか。</p>	<p>(小島課長補佐) 今後作成していく資料については、決定したルート帯の表示をしていく。  ※資料4の東三河都市計画区域マスタープランの将来都市構造図においても、計画段階評価で決定したルート帯と同様の表記が適当であったことから会議後、専門部会委員の了解を得た上で当該資料を修正した。</p>

(部会資料)

・資料1

愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会要綱

・資料2

浜松湖西豊橋道路の概要について

・資料3

浜松湖西豊橋道路の環境影響評価について

・資料4

都市計画の案を作成するための基本方針について

(出席者)

委 員		
部会長	加藤 博和	都市計画(交通)
委員	梶田 悦子	環境・衛生
委員	川野 紀江	建築(景観)
委員	北田 敏廣	大 気 質
委員	佐々木 和治	動物(鳥類)
委員	長谷川 道明	動 物
委員(web参加)	岡田 恭明	騒音・振動
委員(web参加)	道林 克禎	地形及び地質(地下水)
委員(web参加)	吉田 奈央子	土 木 ( 環 境 )
※芹沢委員は欠席。		

県		
都市基盤部	部長	加藤俊彦
都市計画課	課長	伊藤慎悟
〃	担当課長	青柳克彦
〃	課長補佐	小島 健
〃	主査	岩川慎悟